

※令和6年度の基本フォーマット例と同様に、レーダーチャートと帯グラフを活用し、教科に関する調査及び質問調査における「具体的な数値による調査結果」「調査結果の分析」「今後の改善方策」を掲載する例

令和7年度全国学力・学習状況調査 初山別村内の状況及び今後の改善方策

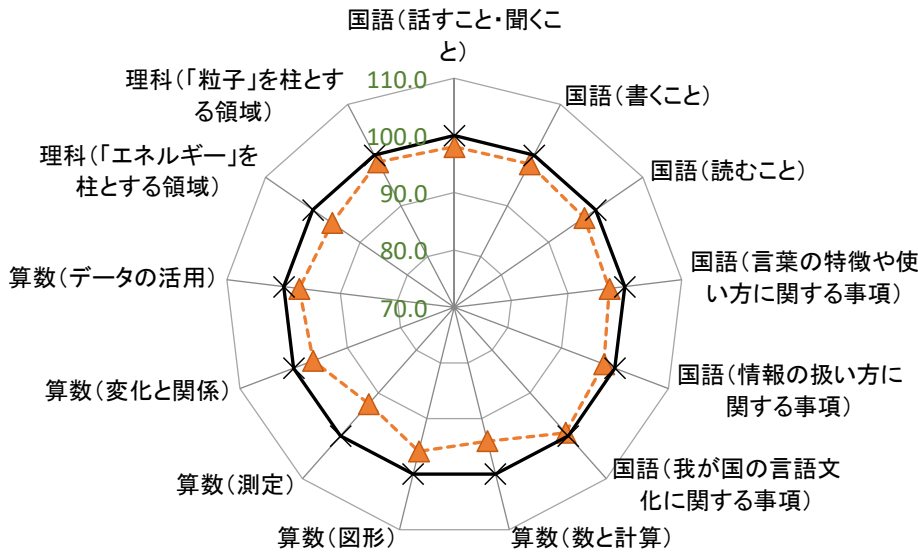
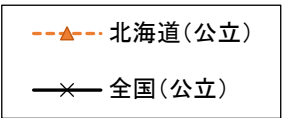
小学校数:1校、児童数:8人 中学校数:1校、生徒数:6人

○ 教科に関する調査の状況

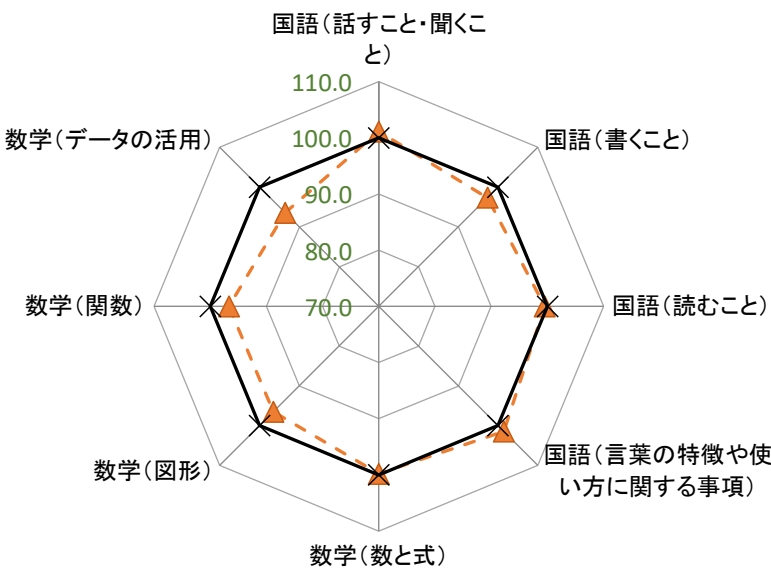
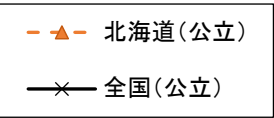
【レーダーチャート】

- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・児童生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、小・中学校の教科調査のデータは掲載していない。

小学校



中学校



【平均正答率・平均IRTスコア】

※中学校理科は平均IRTスコア

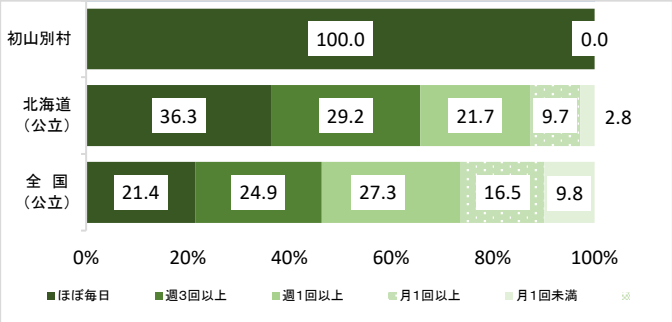
	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

○ 質問調査の状況

小学校

＜学校質問＞

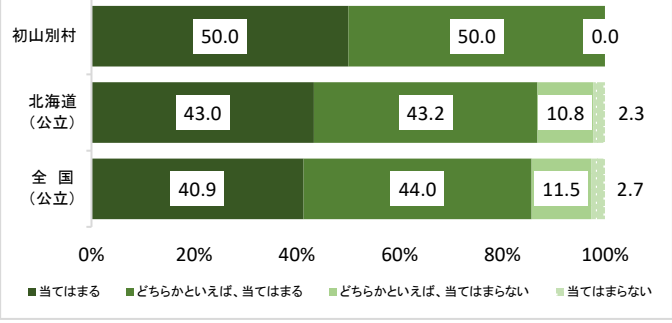
児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



小学校

＜児童質問＞

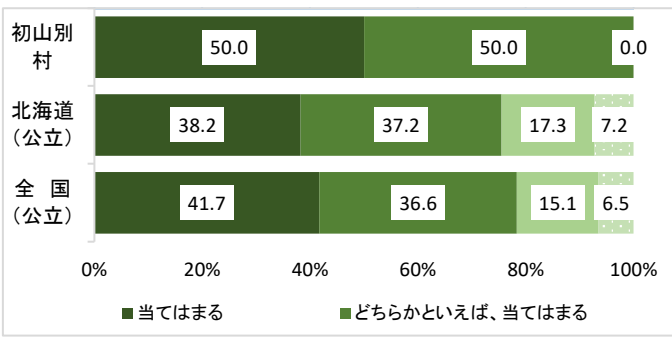
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



小学校

＜児童生徒質問＞

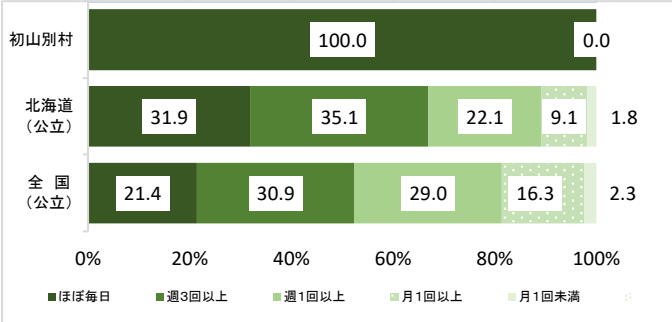
算数[数学]の授業の内容はよく分かりますか



中学校

＜学校質問＞

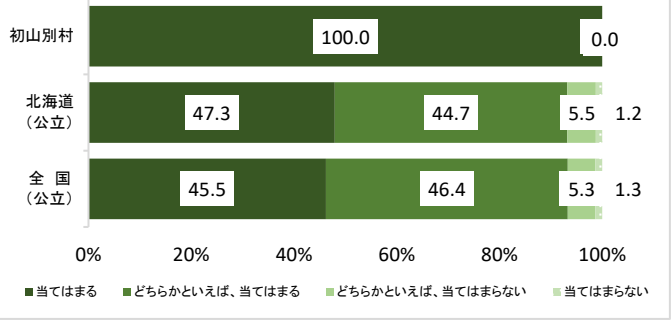
生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



中学校

＜生徒質問＞

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



中学校

○ 調査結果の分析

- ・ 小学校において、児童同士がやりとりする場面で、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用したことにより、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。
- ・ 中学校において、生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日活用したことにより、授業や学校生活では、友だちや周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
- ・ 小学校算数及び中学校数学の平均正答率が全国及び全道を上回っている状況は、算数[数学]の授業の内容はよく分かると回答した児童生徒の割合が全国及び全道を上回っていることが、要因の一つとして考えられる。

○ 今後の方策

- ・ 児童生徒の授業の理解度等に応じた指導方法の工夫改善を図ることによる児童生徒一人一人の資質・能力を確実に育成する取組の推進
- ・ ICT端末を活用した学習支援ソフトによる家庭学習の習慣化を図る取組の推進
- ・ 小学校及び中学校における確かな学力の向上に向けた学習サポート教員や専門スタッフの配置促進